

MPA（メダルポテンシャルアスリート）選手等指定基準要綱
（2014年度版）（平成26年度版）

【目的】

1. この基準要綱は、公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下「協会」という。）が、2020年以降の射撃競技国際競技大会に於いてメダルを獲得し得る選手の発掘・育成を図る為、MPA（メダルポテンシャルアスリート）の指定に関して必要な基準となる事項を定めることを目的とする。

【用語の定義】

2. この要綱で使用する用語の定義を次のように定める。
 - (1) 「MPA（メダルポテンシャルアスリート）選手」（以下MPA選手という。）とは将来的に日本を代表し、国際競技大会に於いてメダルを獲得し得る選手の育成を図るために指定された選手のことをいう。
 - (2) 「MPA選手」は、MPA専門部会の指定を受け活動を行う。
 - (3) 「MPA選手」は、協会から指定を受けた上で将来的に日本を代表する国際的な競技力を備える為、人格見識及び射撃技術の習得に旺盛な向上心を有し、恒常的かつ継続に努力する選手をいう。
 - (4) 「MPA選手」の指定対象期間は指定された当該年度とする。
 - (5) 「MPAコーチ」はMPA部会長のもとナショナル専任コーチングディレクターのノウハウを活用し「MPA選手」の発掘・育成にあたるコーチをいう。

【選手の選抜】

3. MPA選手の指定は以下の条件を満たす選手のうち、日ラランキング上位者にて選抜する。同点の際は、優先順位は低年齢者から優位とする。U-16については条件対象者を枠内で指定する。U-14対象者はビームライフル並びにデジタルピストルの選手を対象とする。21+については、指定枠内においてMPA専門部会が指定する。

ただし、21+についてはナショナルチームに決定した時点でMPA選手としての指定を解除する。U-21、U-16、U-14のMPA選手指定にあたっては、本人及び保護者の同意を得た上で指定する。

各カテゴリーの最大数は以下の通り。（カテゴリー区分における条件は<表1>の通り）

21+（21歳以上26歳以下）：ライフル8名、ピストル4名

U-21（当該年誕生日21歳未満）：ライフル16名、ピストル8名

U-16（当該年誕生日16歳未満）：ライフル・ピストル合わせて20名

U-14（当該年誕生日14歳未満）：ライフル・ピストル合わせて80名

※ISSFルールに基づき2014年12月31日においてU-21は20歳以下つまり21歳未満の選手と対象とする。同様にU-16は15歳以下つまり16歳未満、U-14は13歳以下つまり14歳未満の選手を対象とする。

<ライフル指定条件>

- (1) AR所持者。(U-14はこの限りではない)
- (2) ランキングの平均点が基準点をクリアした選手。
基準点は<表2>の通り。
- (3) 当該年度より4年間以上、競技継続の意思のある選手。
- (4) 週に5日以上(出場試合日含む)の練習環境を確保出来る選手。
(U-16は週2日以上、U-14は月4日以上)
- (5) NT選考対象試合への出場。21+は80%以上を満たす選手。
U-21は51%以上、U-16は40%以上、U-14は全日本小中学生選手権への出場が条件

<ピストル指定条件>

- (1) AP所持者。(U-14はこの限りではない)
- (2) 対象試合(G1, G2, G3+)において、選考基準点をクリアした選手。
基準点は<表2>の通り。
- (3) 当該年度より4年間以上、競技継続の意思のある選手。
- (4) 週に5日以上(出場試合日含む)の練習環境を確保出来る選手。
(U-16は週2日以上、U-14は月4日以上)
- (5) 海外派遣の選考のための指定競技会出場51%以上を満たす選手。
U-14は全日本小中学生選手権への出場が条件

【対象種目】

4. MPA選手(U-21、U-16)の指定対象とする競技種目は以下の通りとする。

<ライフル> 2種目

- (1) 男子10mエアライフル、(2) 女子10mエアライフル

<ピストル> 2種目

- (1) 男子10mエアピストル、(2) 女子10mエアピストル

5. ライフル(21+)の指定対象とする種目は上記種目に以下の種目を追加する。

<ライフル>

- (1) 男子スモールボアライフル、(2) 女子スモールボアライフル

6. U-14の指定対象種目は以下の通りとする。

<ライフル> ビームライフル(自由姿勢・立射)

<ピストル> デジタルピストル(自由姿勢・立射)

【国際競技会等への参加】

7. MPA 専門部会として国際競技大会へ参加する対象試合は以下の通りとする。

- ・ジュニアカップ(ズール) 5月
- ・ワールドカップ MQS派遣(ミュンヘン) 6月
- ・日韓高校射撃大会(韓国) 8月

- ・世界選手権（グラナダ） 9月
- ・世界大学選手権大会（UAE） 10月
- ・シンガポールインビテーションコンペティション（シンガポール） 12月
- ・国際エアガン選手権（ミュンヘン） 1月
- ・アミールグランプリ（クウェート） 1月 <対象 50m>
- ・欧州エアガン大会（欧州） 2月

【国際競技会等への選手選抜方法】

8. 試合参加選手の選抜方法は以下の通りする。

- ・MPA選手の中から、事前合宿または直近の試合結果により選抜する。この場合、学校行事等の時期を勘案して選手を選抜する。選手の選抜時期は対象試合エントリー締切り時期とする。
- ・1月のアミールグランプリについては、21+の選手のうち、50m種目で選抜された選手を人数枠まで選抜する。
- ・1月の国際エアガンについては12月のランクリストまでの対象試合の結果にて選抜する。尚、大学試験期間中につき、大学生は選抜しない。
- ・2月欧州エアガン大会については、1月国際エアガンに選抜されなかったMPA選手の中から選抜する。

『ピストル』

1) 【競技会の設定】

- ・新年度国際大会派遣に際し指定競技会（＝海外派遣の選考指定競技会）を設定する。
 - ①ランクリスト大会 大阪府能勢会場（1月） ②全日本（3月）
- ・対象となる海外派遣競技会と派遣者数が決まりしだい、HPで該当する指定競技会を公表する。
- ・海外派遣を希望する選手は、指定競技会に参加すること。なお、指定競技会に出場資格設けられており、人数制限により出場出来ない場合、MPA選手（MPAブロック選手は含まない）については部会推薦として参加を確約する。

2) 派遣選手の選考方法

- ・指定競技会において、MPA基準点を超える得点を撃っている選手の中で、上位選手から順次、当該海外派遣競技会の参加者とする。MPA選手で無い者は、この時点でMPA選手として指定する。
- ・指定競技会において、MPA基準点を超える得点を撃っている者が、派遣選手数を下回っている場合は、残りの派遣選手はMPA選手の中で、当該指定競技会の成績を含めたランキング上位者から順次選考される。
- ・当該指定競技会において、だれもMPA基準点を超える得点を撃てなかった場合は、MPA選手の中で、当該指定競技会の成績を含めたランキング上位者から順次選考される。

・当該指定競技会の開催日に、海外派遣されている選手については、海外派遣時の得点を持って当該指定競技会の得点とする。

9. MPA 専門部会として合宿へ参加する場合、参加者の選抜方法は以下の通りとする。

『ライフル』 『ピストル』

・MPA選手のなかから、MPA部会が合宿の目的に合わせて、合宿予算人数枠内により選抜する。

【MPA選手の資格停止】

10. 以下の事項に該当するものは、MPA選手の資格を停止するものとする。

この措置は即時実施される。

- (1) MPA専門部会の指導方針に反して故意に反発したもの、もしくは合宿・遠征等の活動に関して、MPA専門部会の評価に満たなかった者。
- (2) MPA事業の目的に沿わない行動を意図的に取り、是正の求めに応じないもの。
- (3) 競技者資格規定に反するもの。
- (4) アンチドーピング規程に違反し競技者資格を停止されたもの。
- (5) アンチドーピング規程に定める居場所情報提出義務を怠り、競技外検査を過去18か月間に2回忌避したとみなされているもの。
- (6) MPA選手指定条件を維持できなくなった者。
- (7) MPA事業に優先的に参加しない者。

付則 この要綱は平成26年11月22日から実施される。

<表1>指定条件

	AR・AP 所持者	基準点	継続の意思	練習日数	対象試合
21+	○	○	○	週5日以上	R:80%以上 <u>P:51%以上</u>
U-21	○	○	○	週5日以上	<u>R/P51%以上</u>
U-16	○	—	○	週2日以上	R:40%以上 <u>P:51%以上</u>
U-14	—	—	○	月4日以上	全日本小中